

テレビ静岡では番組の適正化を諮るための審議機関「番組審議会」を設けています。

このページでは番組審議会の議事の概要をお知らせしています。現在、テレビ静岡では県内在住の8名の方に審議委員をお願いしており、毎月1回（2月、8月は休会）番組について、ご意見を伺い、今後の番組制作の参考にさせていただいています。

テレビ静岡 平成30年6月度 番組審議会概要

平成30年6月14日（木）

13時50分～

テレビ静岡本社 4階 会議室

— 出席委員 —

高木 正和(委員長) 戸崎 文葉(副委員長) 石田 美枝子
木村 精治 上柳 正仁 齋藤 照安 五十住和樹 海野洋平

— 議 題 —

番組名 テレビ静岡開局50周年記念「爆笑問題の深海WANTED」
～ カリブの海底を大探検スペシャル～

放送日時 平成30年5月20日(日) 16時00分～17時20分
全国27局ネット

【16時00分から5分間は番組紹介（みどころ） 本編は16時05分～】

制作著作 テレビ静岡

— 番組内容 —

3年連続で希少な深海生物を捕獲・展示してきた『深海 WANTED』。第4弾の今年は、カリブ海に浮かぶ楽園「キュラソー島（オランダ）」と駿河湾が舞台。

キュラソー島では、現地水族館が保有する“有人潜水艇”に、日本のカメラが初潜入！現地スタッフとともに、カリブの深海を探索し、超レアな生物を捕獲。

一方駿河湾では、昨年捕獲出来なかった、ザラザラの肌に豚のような鼻を持つ超希少な深海サメ「オロシザメ」がターゲット。お笑いコンビ COWCOW が捕獲に挑みます。

駿河湾のプロジェクトでは、脚を広げると2mを超す超巨大タカアシガニや、数年

に一度しか捕獲されない“ワニ”のような鋭い歯を持つ幻の深海ザメなどを続々捕獲。ベテラン漁師も驚く大発見の連続！一年越しの挑戦の結末とは!? 出演は、爆笑問題、いとうあさこ、ビビる大木、岡田結実他。

— 審議概要 —

- ◎深海の未知の世界をワクワクしながら見た。見た事のない深海生物を見られて価値がある番組だった。
- ◎潜水艇に乗って生物を捕獲する映像は臨場感があり、生物捕獲の瞬間に息を飲んだ。
- ◎教養とバラエティのバランスが丁度よかった。
- ◎シリーズ4作の中で最も質が高かった。
- ◎イラストの深海インジケーター表示で、潜水艦の深度が分ってよかった。
- ◎子供たちの笑顔で番組が終わりよかった。これからもシリーズを続けて欲しい。
- ◎子供たちのインタビューは、どのようにしたらあのように取れるのか知りたい。
- ◎引き上げた底引き網の中身は、見た事が無いので面白かった。
- ◎深海芸人図鑑のコーナーでは、“深海生物を人気芸人に例えるのはどうか、神秘的生物が神秘的でなくなりもったいなかった”、“深海生物に興味が無い人に興味を持たせる効果があった”などと意見が分かれた。
- ◎「駿河湾の漁の紹介」については“もっと短くてよかった”、“身近な海だからもっと詳しくてもよい”と評価が分かれた。
- ◎司会の爆笑問題については、“この番組のキャラクターとして適任”とする評価と、“爆笑問題でないとダメなのか”と否定的な評価に分かれた。
- ◎なぜカリブの深海の魚を取材するのか理由が分らなかった。
- ◎海外からの搬送の様子があっさり過ぎた。

第2部 海野委員 「スポーツとテレビの可能性」

以上、制作部門にフィードバックし、今後の番組作りで参考とさせていただきます。

次回の番組審議会は平成30年7月12日（木）の予定です。